



原爆慰霊碑

小屋浦四丁目・坂町自然災害伝承公園（小屋浦公園）

昭和20年8月6日、広島市に原子爆弾が投下され、小屋浦の臨時救護所には、国民学校へ60名、海水浴場休憩所に300名の人々が収容されました。

小屋浦住民は交代で看護などを行い、次々と亡くなられた方々を埋葬（土葬）しました。埋葬された遺骨は、昭和27年7月末に発掘され、広島市の中島供養塔（現・平和公園の原爆供養塔）に納められました。

90名余りの犠牲者の名前が刻まれた原爆慰霊碑を昭和62年、小屋浦トンネル出口（亀石側）に建立しました。

建 立 昭和62年3月 **建立者** 慰霊碑奉賛会、有志

※平成30年7月豪雨災害で原爆慰霊碑が土砂に埋もれたため、令和元年7月、坂町自然災害伝承公園（小屋浦公園）に移設されました。



原爆慰霊碑

■坂町の取組

① 千羽鶴プロジェクト

毎年7月に、平和への願いを込めて折った折り鶴を町内の各施設で集めます。皆さまからお預かりした折り鶴を千羽鶴として、広島平和記念公園へ子ども達と一緒に奉納する活動を行っています。



② 平和学習講座の開催 紙芝居、歌、お話等を通して平和について考えます。

と き 8月2日（土）10時30分～11時30分 **ところ** 町民センター 3階 和室
対 象 どなたでも（30名） **申込み** 町民センター ☎820-1515

③ 平和音楽祭の開催 音楽を通して平和について考えます。

と き 8月10日（日）13時～15時45分（開場12時）
ところ シモハナ Hall
入場料 大人 2,000円 高校生以下 1,000円 **全席指定席**
問合せ 役場生涯学習課 ☎820-1525

販売場所

シモハナ Hall、町民センター、
横浜ふれあいセンター、
小屋浦ふれあいセンター、
役場生涯学習課

④ 町民センター展示 7月30日（水）～8月13日（水）

「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵」を展示します。

⑤ 坂中学校修学旅行 沖縄での平和学習

今年度から坂中学校の修学旅行先が沖縄県になります。

沖縄県恩納村との交流を通じ、中学生同士が歴史や文化、そして平和への想いを共有する機会を設け、過去の出来事を深く理解し、未来に向けて平和を希求する心を育めるよう、取り組んでいきます。

沖縄での平和学習に向けて

総合的な学習の時間に、沖縄地上戦で追い詰められ自ら命を落とした人々の苦しさを学びました。命の大切さと、平和な幸せを胸に留めて、実際に沖縄に行って学んでいきます。

坂中学校2年 大谷 優芽
金子 千紘



（今月号の表紙は、職場体験をした坂中学校の生徒と作成しました。また、坂町原爆犠牲者追悼碑についてホームページで紹介しています。）

終戦から80年

つなぐ

～平和な未来を子ども達へ～

昭和20年8月15日の戦争終結から80年を迎えます。また、広島では8月6日で被爆80年となります。

2年前、広島で開催されたG7サミットでは、核軍縮に関する共同文書「広島ビジョン」が発出されました。戦争を二度と起こしたくない、核兵器のない平和な世界でありますように…そんな私たちの願いを未来につなぐために、広島に住む私たちに何ができるのか、まずは知ることから始めませんか。

■町内の追悼碑・慰霊碑について

（参考文献：坂郷土史会が平成22年に町内の石碑についてまとめ、発行した本『ふるさとの碑』より）

坂町原爆犠牲者追悼碑

北新地一丁目・B&G海洋センター前

被爆50周年を迎えるにあたり、原爆被爆者の追悼と核兵器の廃絶及び世界平和を祈念して、建立されました。

建 立 平成7年5月

建立者 坂町、
坂町原爆被害者の会

※本号の表紙は、坂町原爆犠牲者追悼碑の写真です。

碑文（一部抜粋）

昭和20年8月6日広島に、9日長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され市内は一瞬にして焼土と化し広島では二十数万人の尊い生命が奪われました。

坂町でも死没された方が約190名にも及び、また学校や寺院などの臨時救護所には負傷者が次々と収容され沢山の方が亡くなりました。

被爆50周年を迎えるにあたり、犠牲者の追悼と、人類とは共存出来ない核兵器の廃絶、そして二度と被爆者をつくらぬ決意を後世に伝え、世界平和を祈念してこの碑を建立す。

坂町原爆被害者の会

慰霊碑

坂東二丁目・坂八幡宮境内

日支事変（日中戦争）以後、第二次世界大戦で戦没した軍人軍属及び国家総動員法により動員されて逝去された方々の霊を慰めるため、郷土生存者の責務という思いから慰霊碑建設委員会を設け、一年余りの検討を経て建立されました。

595名の姓名が15段に分けて刻まれ、「慰霊碑」という文字は、当時の内閣総理大臣佐藤栄作氏を書きました。

この慰霊碑は、今後永久に愛国愛郷の象徴となると共に、このような多数の犠牲者を出さない平和な国を望むと同時に、この碑が平和の記念塔として永劫に住民に親しまれるようにとの願いが込められています。

建 立 昭和41年10月

建立者 戦没者慰霊碑建設委員会



慰霊碑